

4年ぶりに通常開催！東通十割新そば巡り！ ～ひがしどおりシン・そば街道まつり～



会場の外にまで行列が！（大利）



そば処田や(田屋)



さんば(田屋)



たべもの工房来美里(大利)



手打ちそば長寿庵(砂子又)



目名さらしなの会(目名)

10月14日～15日の2日間で、4年ぶりとなる「ひがしどおりシン・そば街道まつり」が通常開催され、村内5会場（大利、目名、田屋×2、砂子又）は、収穫されたばかりの新そばを挽きたて、打ちたて、茹でたてで味わうため、大勢の来場者で賑わいました。

各地区の会場では地元のお母さんたちが腕を振るって、そばを打ち、打つ人が違えば味も変わり、新そばならではの風味豊かなそばになっておりました。

両日とも秋晴れとなり、村内外問わず、多くのお客様がみられました。お昼時には最大1時間待ちになるほどで、外まで行列が出来ており、各会場とも大盛況となっております。

来年の5月には「新緑そば街道まつり」の開催が予定されています。皆さん是非またお越しください。

「サケ漁況の見通しに係る研修会」を開催

9月27日、村体育館において村漁業連合研究会(会長:渡部忍)が「サケ漁況の見通し」についての研修会を開催し、“地方独立行政法人青森県産業技術センター内水面研究所 調査研究部長 田澤 亮氏”より講演をしていただきました。

今年の来遊の見通しは、太平洋沿岸での河川捕獲尾数は約9千尾、沿岸漁獲尾数は8万4千尾の見込みであり、昨年をさらに下回ると予測されるとのことでした。

当村における昨年のサケ水揚量は過去30年で最も少ない約138トンであり、ここ数年不漁続きだったことから、会員は講師の説明に熱心に耳を傾けていました。



(13) 広報ひがしどおり 第700号

東京都高島屋新宿店にて「東通村展」開催！



9月20日から26日に、東京都高島屋新宿店において『東通村展』が開催されました。東通村より直送された東通牛精肉や生ウニ、地まきホタテ等、村外ではなかなか入手できない特産品が勢揃いしました。産地直送だからその品質とうれしい価格に連日大賑わいの『東通村展』でした。